

京城日報

○内閣擁護の聯合大會

昨(八)日午後一時、東京市會館で、内閣擁護の聯合大會が開かれ、出席者は、各政黨の代表者、議員、記者、市民等、約千名に達した。開会式は、議長、議員、記者、市民等、約千名に達した。開会式は、議長、議員、記者、市民等、約千名に達した。開会式は、議長、議員、記者、市民等、約千名に達した。

列強大戰亂電報

▲巴里を去る石井男

石井男は、昨(八)日午後、巴里を去る。石井男は、昨(八)日午後、巴里を去る。石井男は、昨(八)日午後、巴里を去る。石井男は、昨(八)日午後、巴里を去る。石井男は、昨(八)日午後、巴里を去る。

▲倫敦に到れる石井男

石井男は、昨(八)日午後、倫敦に到る。石井男は、昨(八)日午後、倫敦に到る。石井男は、昨(八)日午後、倫敦に到る。石井男は、昨(八)日午後、倫敦に到る。石井男は、昨(八)日午後、倫敦に到る。

▲米國獨逸の通牒を待つ

米國政府は、昨(八)日、獨逸に對して、通牒を送る。米國政府は、昨(八)日、獨逸に對して、通牒を送る。米國政府は、昨(八)日、獨逸に對して、通牒を送る。米國政府は、昨(八)日、獨逸に對して、通牒を送る。

▲混沌たる巴爾幹諸國

巴爾幹諸國は、混沌たる。巴爾幹諸國は、混沌たる。巴爾幹諸國は、混沌たる。巴爾幹諸國は、混沌たる。巴爾幹諸國は、混沌たる。

▲獨逸の一般情勢提起説

獨逸の一般情勢は、提起説。獨逸の一般情勢は、提起説。獨逸の一般情勢は、提起説。獨逸の一般情勢は、提起説。獨逸の一般情勢は、提起説。

▲強襲占領

獨逸の公報に依れば、獨逸は、強襲占領。獨逸の公報に依れば、獨逸は、強襲占領。獨逸の公報に依れば、獨逸は、強襲占領。獨逸の公報に依れば、獨逸は、強襲占領。

▲英船泊禁賣

英國は、獨逸に對して、英船泊禁賣。英國は、獨逸に對して、英船泊禁賣。英國は、獨逸に對して、英船泊禁賣。英國は、獨逸に對して、英船泊禁賣。

▲大津文

大津文は、獨逸に對して、大津文。大津文は、獨逸に對して、大津文。大津文は、獨逸に對して、大津文。大津文は、獨逸に對して、大津文。

▲西牙外局中立

西班牙外局は、中立。西班牙外局は、中立。西班牙外局は、中立。西班牙外局は、中立。西班牙外局は、中立。

▲懸案完結

懸案は、完結。懸案は、完結。懸案は、完結。懸案は、完結。懸案は、完結。

▲渡間無恙

渡間は、無恙。渡間は、無恙。渡間は、無恙。渡間は、無恙。渡間は、無恙。

▲恒久王即位

恒久王は、即位。恒久王は、即位。恒久王は、即位。恒久王は、即位。恒久王は、即位。

頁八てせ合と刊朝

| 種別 | 金額 |
|----|-------|
| 定額 | 一月 三圓 |
| 半年 | 一五圓 |
| 一年 | 三〇圓 |
| 廣告 | 別表 |

▲内大臣の伺候

内大臣は、伺候。内大臣は、伺候。内大臣は、伺候。内大臣は、伺候。内大臣は、伺候。

▲警務部長會議

警務部長會議は、開催。警務部長會議は、開催。警務部長會議は、開催。警務部長會議は、開催。警務部長會議は、開催。

▲井上陸軍少将の往診

井上陸軍少将は、往診。井上陸軍少将は、往診。井上陸軍少将は、往診。井上陸軍少将は、往診。井上陸軍少将は、往診。

▲瀕す

瀕す。瀕す。瀕す。瀕す。瀕す。

▲瀕す

瀕す。瀕す。瀕す。瀕す。瀕す。

▲瀕す

瀕す。瀕す。瀕す。瀕す。瀕す。

▲瀕す

瀕す。瀕す。瀕す。瀕す。瀕す。

北 南

| 種別 | 金額 |
|----|-------|
| 定額 | 一月 三圓 |
| 半年 | 一五圓 |
| 一年 | 三〇圓 |
| 廣告 | 別表 |

本年十一月の御即位式に際し此萬歲曆を最も奉祝の意義に慄ひたるものとして歓迎を受け各地官衙其他一般より續々豫約の申込も有之候につき御採用御申込あらん事を希ふ

豫約幅帳の爲め貴需を謝絶する恐れ有之候では遺憾に付此際至急御申込を希望致し候

各位の御便宜の爲め募集員を出張御伺爲致候に付き直接御協議豫約被成下度候也

萬歲曆の掲揚は左圖の通りに候

大正四年八月

萬歲曆朝鮮一手販賣

京城日報社代理部

振替口座京城三〇〇番

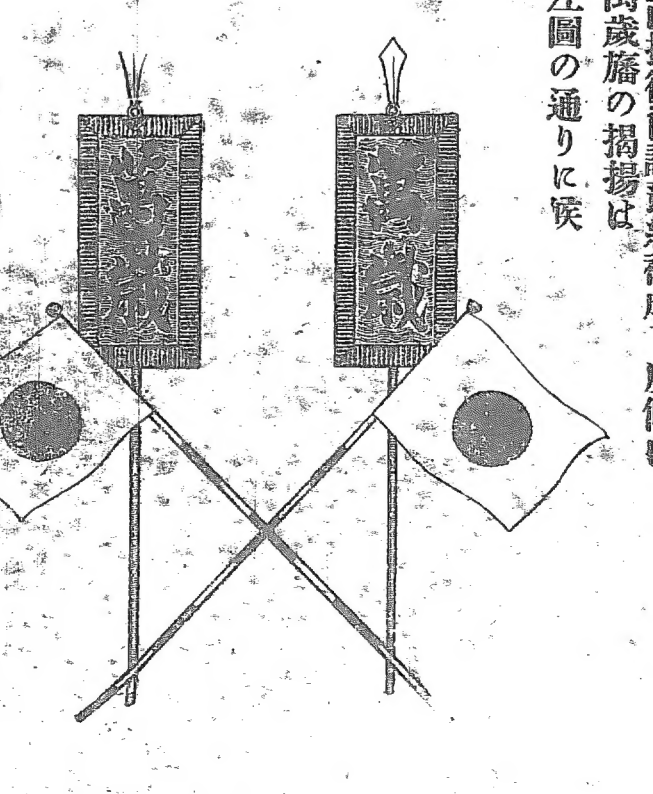
過去三十年間苦心の結晶は今や舶來品を凌駕して發行益成なり

ASAHI MARK

SAISON

自轉車

宮田製作所



會場共進會
前見物

(五) 樂天地

「河んだらう」と眼を凝らすと、小い水田を廻つて深い溝が掘られ、それがまた轉れて水田の間に彼方、此方に通じてゐる、銚子を覗て居るその大きな區劃は東西に分れて東は今の北の庵盆水耕組合、西は平北の大正水利組合と

△灌漑事業を現物

そのまゝ此所に現はしてゐるのだから、
僕達はもう大分

●天長節祭典

凡て十月卅日を以て行はせらる可し

● 天長節の御祝賀

田母澤御用邸及宮中に於て宮内諸大官及御内儀の祝辭を受けさせられ酒饌を賜ふ

●井上侯の病篤し

發熱四十度―某醫學博士の談

井上侯の病氣重症なりとの報を得て過日同侯を診察したる某醫學博士を會つて曰、井上侯の病狀は腎臟炎より來りたるものにて尿道症を起し爲に病毒全身に廻り甚だ心痛すべき容態なりと診斷したる當時は發熱も左程に高からざりしを以て尚ほ一種の憂有したるも今も四十度の發熱と聞きては實際油斷仕難き病狀なりと東京特選

●振つた餘興

其の日の賑ひ

名實を循注し、國體の當奉者一
發送したるが是等の來賓に對し
興へ、尚書内とは尋司、方よし、

の内鮮藝妓をして斜旋せしむべく餘興として藝妓の手踊あり

▲大繁昌の演藝館 場内に於ける興行物の重要なものは曲馬

不思議館 輕業 迷道館 朝鮮舊劇 ジオラマ 活動眼

鏡 素人相撲 等なるが此の外内地より其連會を當込みて京城に入り込むものなしてを限らず 技藝の優劣なるものは隨處招聘も演藝館に於て開演せしむべしと

●死刑宣告

平瀬地方法院にて禁應彦以外九名
 往生際の悪る
 き賊魁禁應彦

● 今日からまた楽しく学校へ

九月一日市内各學校では

● 水原覺悟の轢死

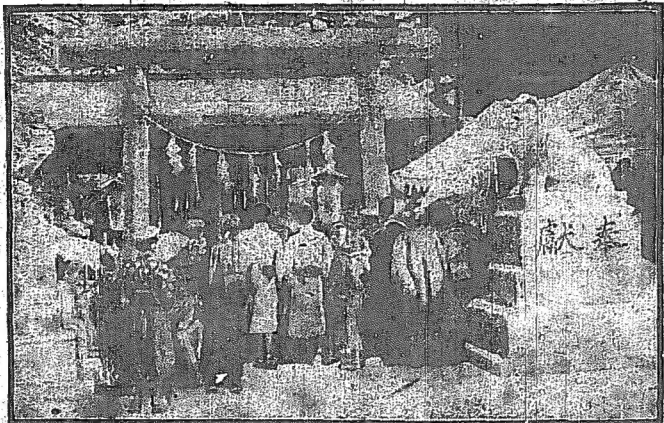
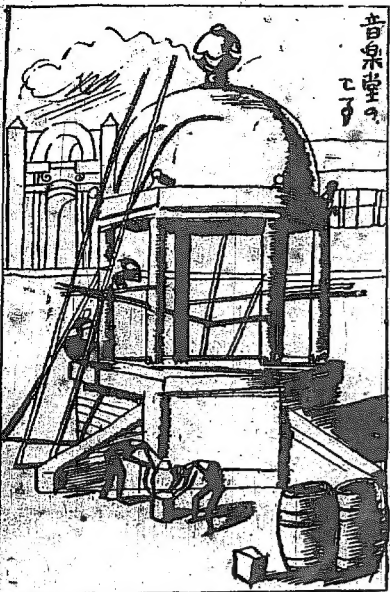
夫の無情を恨みて
京畿水原郡安龍面上柳川里鐵道線
に三十日午前四時頃年頃二十七八

● 伯林狼狽

虎疫盛に發生す

鋪設拜觀許可

十二月一日より
典御即位式當日の鋪設其儘一般
許さるゝは十二月一日より同月
らん(東京警電)



九月二日 九月三日 九月四日 九月五日 九月六日 九月七日 九月八日 九月九日 九月十日 九月十一日 九月十二日 九月十三日 九月十四日 九月十五日 九月十六日 九月十七日 九月十八日 九月十九日 九月二十日 九月二十一日 九月二十二日 九月二十三日 九月二十四日 九月二十五日 九月二十六日 九月二十七日 九月二十八日 九月二十九日 九月三十日

鐵道家族慰安會 罷出鐵道員俱樂部にては入京中の村屋、富士田、柳樹各師匠を招き一日午後七時半より鐵道局員家族慰安娛樂會を開く
 伊豆田小兒科院長の研究 共進會なる今日中小兒科醫術流行の速より油小兒病研究は古來日本新發見化學療法研究爲三國獨得の秘宝と云ふ足跡、岡崎の各大病院の鑒、日午前出發

[illegible]

巡回の際銃器を携へたる二名の馬賊に出會ひたるより李は油斷を見落して一名に飛寛り逮捕せんとしたるも何故相手は二名の善速力及はテ指圖の末馬賊に幸ひして銃器を遺棄して逃亡し然れば李は二挺の銃器を肉獲して引拂びたりと

●金剛山遊覽新道路
八月三十一日に竣工した
可なり金剛山に上るには従来馬路を取てしを今金剛を歩脚
路同様に由るも可なりと雖も内金剛を歩脚

御大典奉祝用しは

○用差附見本
特製桐箱入包装付
一個ニ付

(貳) 物三寸
① 卑金貳拾八錢
桐箱入一個ニ付

(分) 物二寸
② 乙金貳拾錢

一、豫約御申込の際
は代金三分の一
以上御拂込の事
多數割引

九月一日より、著金順に發送す
見本御入用の節は送料共金二十六錢御送付の事

(郵券代用券) 可なり
本品の外箱へ「大阪市奉祝會」の如く主催團體名捺印御希望の向
は左の規定に依り申込に可應候
個數 三百個以上の事
代金 贈金御拂込の事

申込期限 九月廿五日限り
照會は 返信料御添付の事

京橋本町一丁目

肥 陶 榮 商 店

電話四三三番(電略)(上)
番口門牌五三三番

磁器 陶磁 器商

今秋行はせらるべき土師御盃に換ふこそ最も適當ならんと其大官の
 天香具山の塩土を採り土師御盃の皇祖大和國に是を平定せし給ひし時
 を用ひに始まら宮中の御盃は申すまでもなく歷代の御盃に於ては必ず給
 れば現に今秋御盃の御器製作用に供せらるべき皇祖大和國に於ては必ず給
 用の御盃を御盃の御器製作用に供せらるべき皇祖大和國に於ては必ず給
 の御盃を御盃の御器製作用に供せらるべき皇祖大和國に於ては必ず給
 以て奉り御盃典を記念大節の式典は元には尤に本儀の至りなりと云ふ御

大 阪 陶 泉 堂 主 謹 誌

大阪朝日新聞新販賣所

從來の販售所の外に本紙の新販賣所を設け九月一日より配達開始致候間于急御申込被下度候也

京城南大門通り二、三六六朝通信部内

大阪朝日新聞京城販賣所

(電話三九七番)

電信照會は往復に限るの外返電せず

大販賣 廉價製造 各種模範久川
りあ種六寶實久川
筋堂町可寄實久川
店商

行死月 廉價製造 各種模範久川

高株式會社仁川米豆取引所仲買人

會員募集
（格週斤、火木、金）
（午後七時半より）
九月六日新學期開始す
毎夜外人教師出席
日より
京城旭町三丁目名古屋城内電話二五六番
實用英語夜學會

刊·休無申年

發行所
會社
東京
城目
報社



東京帝國大學講師 鳥居

四 不窟窟の伊豫に新羅時代の入唐の型
 の説は先づ根據とであるが眞に
 北の方鮮人に今の潮州人とは獨
 々にけるのみならず、其風俗
 言語の多岐なるを以て、
 朝鮮に已つたことも石窟像の佛像は昔
 代の人の型であるとも言へる。又

うである。彼の朝鮮で所する平
一または、イタンとの如き家
のボートと同一で、蒙古や滿洲等
ヤン欽の力から見ては頗る面
點であつて、一近頃白鳥博士も朝
と滿洲語とマンチス語との同
統にある事を立證されてゐるや
は、是を以て觀るも朝鮮人は餘
方、自國の色彩を帯びて居るの
又、自國の考へては朝鮮の古史に
三國時代の間を隔て三韓時代
に南方に於てゐるものが頗る
年代であつたと思ふのである。從
三韓時代と稱せられて居るも

單に何重品とは思はず。殆んど新
羅時代の生きを人間に關する思ひが
するものである。自分は、朝鮮を
見るの佛像の容談に就て實際體
其の繪文を起草したいと思つた
もの。短廣邊から云はれ、自分
みつゝある朝鮮各道の人間の身體の試
調査を精密に觀察し、數手を以て現
其の分布地圖を作つたならば、別
理由を言はすしてその民族關係に關
し、鳥獸間的に居ることが出来ると思
ふ。又、これに目下金澤博士の試が
ある朝鮮方言の調査と相伴つたか
らは何等か面白い事實が現はるゝ事
と思ふ。

、自分を以て觀れば誠にその足
る時代のものを揃へて釋せられて
う彼の變遷、記載の三傳時代の
は、實に自分の云ふ三傳時代の
であると思つたのである。其れは
買家をクロノロジーとして應用
と石器時代（有史以前の）次に金
使用し進んでゐる時代がある、こ
三傳時代の前期と云ひたい。新
朝鮮人知なるものは、上古の
以前より陸續に發達したつた種
あつて、只だ南方にはこのX民
するばかり、此の點は既に注
可きであると思ふ。語は更につ
の忠海南道恩津郡の恩津彌勒の
處では自分は頗る興味を有つて
ゐ、あの佛像の醜が四角形を爲
眼が細長、この形式の佛像は
道や全羅道等に多く見る所であ
これは決して他道に見られぬ特
ある、然るに阿蘭陀のは今でも
人の人の體を認めるのであ
で、大いなる驚きを見るのであ

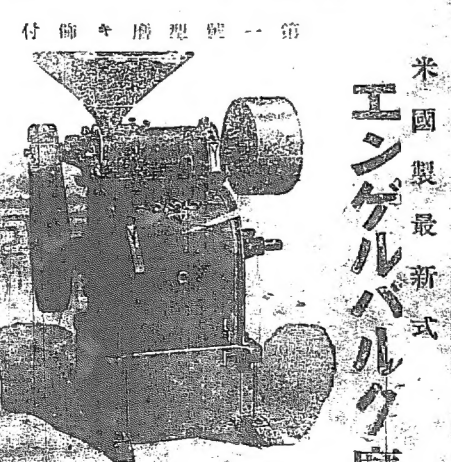
傳雲宮詩集
江閣千秋吟、竹園雜興敘。
江閣消閑易早秋。獨心時思未肯收。夢
抱梅。光緒古遺。寶藏燈下長潮。炎浪
已絕無時變。醒睡何須卻日休。霖霖不
能復雨甘苦奈來此寒風流。
之夢日。早有潘安仁意。
同
步蓬。宋志爽
昔苦長夏遘新秋。玉宇乍清星火流。
衰。草草當憂語。疎能風動策懸浮。
感懷自遜陳陽關。逸興還疑赤壁遊。吟
龍酒醒入欲去。轉明月滿江樓。
之夢日。蓮荷。
同
春臨古渡發層樓。樓倚奇峯望翠州。珠
宿波。生樂飲。歡懽韶影彩霞浮。金鑲
欲飲。船花荷香雅。西風回首露華流。酒盡
吟管聲。新涼萬葉江村。
之夢日。吾心亦在。
同
古閑人清秋。柳絲清幽淡。酒後時心
動。夕陽一上樓。
之夢日。第一句無與有韻。

共進會場
(寫真
說明)

又廣州省立博物館の佛像の如きも、今
 年すでに述べたが、其當時の人
 々寫生ならんと思はるゝのは、今
 もあの邊の人の彫像を調べ
 往々「へ」の手形の眉毛を有つた
 細長い同佛像の如き人彫像を
 事がある。殊に此の型は婦人に
 やうだから、此の點から考へて
 佛の像は新羅時代の婦人……
 美男の王族、宮女の騎をモデル
 たるものでは無からうか。又新
 羅石を大理石の如く磨削し、技
 術上に見ても、寧ろこれに考へる
 であらう。寧ろこれに考へる
 現今國羅巴で希臘時代の彫刻を
 するの如く、島海の島々に住民を
 研究するやうなもので、此の意
 云へば石窟佛の佛像は新羅時

始政記念館朝野物産並建
 九月十一日まで 京城景福宮に於て
 會場には景福宮内七萬二千坪の廣
 闊な地域を充ちし、動植物、交泰殿
 農畜等、主要なる建物を使用する外
 各種の陳列館を新築設備せし、使用
 建築總計五千二百二十六坪なり。此
 建築内地のそれと比較して規模は
 大なり而して其經費は總督府本府
 算より五十萬圓を支出し、外に地方
 に地方官吏間の寄附に依る各地點
 設備の費用を合し約七十五萬圓に上る

①第一號館 ②營林廠館
 ③機械館 ④美術館
 ⑤音樂堂 ⑥參考館
 ⑦第一號館 ⑧審勢館
 ⑨鐵道局 ⑩演藝館
 ⑪養魚場 ⑫正門前
 ⑬慶會樓 ⑭東拓館

[illegible]

號八第型號七第型中式新回今
白精の機米りせ入作作製を型
した差大と型號一第型大は高

本機に六型あり

摩 擦 精 米 機

目 科 業 營

提精阻其漬の機馬粉肥穀舂結摩辛
鉄水新他機壓以力挽料類新振
油研品請一式形益兼用未木
各藥名機用油石石磨動機製製研
種草種並荷筒牌盛圓機機機機
種草種並荷筒牌盛圓機機機機

(說明書郵呈)

[illegible]

病める世外侯と朝鮮

國分李王職事務官談

日本が朝鮮に對する政策は、先づ朝鮮の王室を維持することである。王室が存続すれば、朝鮮は平和で統一される。王室が倒壊すれば、朝鮮は分裂と内戦の憂に陥る。李王は、日本の援助を仰ぎ、王室の維持に努めている。日本の政策は、朝鮮の王室を維持することである。王室が存続すれば、朝鮮は平和で統一される。王室が倒壊すれば、朝鮮は分裂と内戦の憂に陥る。李王は、日本の援助を仰ぎ、王室の維持に努めている。

政治の要諦を説き

政治の要諦は、国家の利益を保護することである。国家の利益は、主権の保全と領土の完整にある。政治者は、国家の利益を犠牲にしてはならない。政治の要諦は、国家の利益を保護することである。国家の利益は、主権の保全と領土の完整にある。政治者は、国家の利益を犠牲にしてはならない。

日章旗を

日章旗は、日本の象徴である。日章旗を掲げることは、日本の主権を主張することである。日章旗は、日本の象徴である。日章旗を掲げることは、日本の主権を主張することである。

皇神代奉安

皇神代奉安の儀式は、日本の神聖な行事である。皇神代奉安の儀式は、日本の神聖な行事である。

下水浸漬の次

下水浸漬の次は、日本の伝統的な行事である。下水浸漬の次は、日本の伝統的な行事である。

活動寫真場内取締

活動寫真場内取締の規則は、日本の法律である。活動寫真場内取締の規則は、日本の法律である。

今日（二十日）

今日（二十日）の出来事。今日（二十日）の出来事。

女事務員の募集

女事務員の募集。女事務員の募集。

有給外交社員

有給外交社員。有給外交社員。

恩給年金類立替

恩給年金類立替。恩給年金類立替。

警察總監部

警察總監部。警察總監部。

差押不動産公賣

差押不動産公賣。差押不動産公賣。

朝鮮總督府

朝鮮總督府。朝鮮總督府。

朝鮮總督府

朝鮮總督府。朝鮮總督府。

| | | |
|-----------------|------------|--------|
| 川切符發賣所大阪商船會社駐支店 | 電話二二〇三、五〇〇 | 電話七〇八番 |
| 船費所內國通貨物社支店 | | |